

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

事業所番号	3391000019
事業所名	グループホーム心
自己評価作成日	令和6年11月14日
運営推進会議開催日	令和6年11月19日
外部評価作成日	令和7年1月21日
提出日・公表日	令和7年1月30日

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員全体で理念を共有してそれをふまえた上で、スタッフ全体で会議等で掘り下げて目標設定を行い、日々のケアへと繋げている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人全体での大きな行事がある中で地域の方と交流する機会があったり、外出支援で外にでたりすることで地域との繋がりを大切にしている。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所から会議の都度、取り組んでいる内容がわかるような事例を報告して、参加メンバーの方の意見・質問等を頂き、さらなるケアの向上に努めている。委員の方の要望を聞きながら会議の内容も検討している。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎回運営推進会議の時に、介護保険課の職員に出席してもらい、各委員の情報共有や情報交換、地域との連携状況等市としての意見を求めている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回社内研修があり、スタッ全員が参加しており、正しい理解に繋がっている。玄関の施錠は夜間のみであり、外出される方についてはさりげなく声をかけ、一緒に外出し安全面に配慮している。リスクについてご家族の方に説明して理解をして頂くようにしている。又月1回拘束廃止委員会で話しあった内容をスタッフに伝え意識づけを行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お話を聞いて皆さんの理解の進み具合がよく分かりました。入居者の部屋にも鍵はなく、自由な我が家にいる雰囲気でした。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回社内研修に参加して、高齢者虐待防止法などについて学び、理解できるようにしている。また、月1回虐待防止会委員会を開き、特に言葉遣いについてお互い意識をして、心理的虐待にあたらないように気を付けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の言葉でやさしく接していると思いました。見学していて職員の言葉遣いはよくできています。言葉遣いにはきを付けているように思われる。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度にについて資料を配布して、新しい職員が入るつど理解できるような機会を作っている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時は職員と管理者が、重要事項説明などを行っている。事業所でできること、できないことなどの説明や疑問点等その都度話しやすい雰囲気です時間をかけながら丁寧に説明し理解に繋げている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活の様子を写真や動画でその都度発信しながら、小さな変化等を電話や面会時にお伝えしている日々の何気ない会話の中で、ご利用者・ご家族の思いをひきだせるように努め、ケアプラン等にも反映させている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	様々な方法で家族等とコンタクトしようとしているその様子が伺えました。細かい事まで伝えられていると思いました。電話連絡等・ご家族への連絡など丁寧にされていると感じました。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	業務改善委員会、両立支援委員会において協議され提案された意見や改善点について、全体に周知するとともに幹部会議に提案し規則への反映等を行っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年職場内研修を年2回30講座程度企画し、実施している。さらにキャリアパス制度を就業規則において定め、職階を問われる能力、必要な資格及び給与の反映が明確に示されている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	努力の様子がわかりました。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	初級、中級、上級に研修を行い、それぞれのレベルに応じた教育・指導を行っている。施設外研修の機会もあり、日々の様々な会議・研修等もあり、スタッフが学ぶ姿勢を大事につねに新しい知識をえられる機会がある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの能力にみあってやっていると思われる。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設外研修への参加とともに、法人内の他施設研修にも参加しながら、モチベーションとケア内容の向上を推進している。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活の視点を大事にして、昔ながらの風習など色々と教えて頂きながら過ごしている。一緒に料理や野菜作り等通して人生の大先輩として尊敬の思いをもちお互いできない部分を支え合うようにしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの感染状況を確認し対策を行いながらいい時期にご本人の要望をくみ取り、自宅やなじみの場所への外出支援等を行っている。定期的に手紙や電話で親しい人とやりとりはしている。			

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の関わりの中でご本人が言われる単語・表情から思いが感じ取れるよう努めている。失語の症状が進行してきた人には、人となりの情報やご家族の方の意見をお聞きしながら思いの推測に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日ごろの会話の中で、時間をとり話しをする機会をつくり、ご本人・ご家族の方の思いを引き出せるような関わり方に努めている。それぞれの意見を反映したうえで、スタッフ間でカンファレンスを行い介護計画書を作っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画書通りに介護が行えていると思う。入居者の気持ちをくみとった計画をたてられていると思いました。職員の皆さんが丁寧に接している様子がよく理解できました。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケア記録の中に、ご本人のいつもと違う様子からの気づき、ご本人の思いが感じられた言葉を書き残すことでスタッフ間の情報の共有に努めている。失語の症状が進行している方が多い中で、言葉だけでなく行動や表情について思いの推測に繋がる記述に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の思いを書き残すことで情報の共有に努めておられる。丁寧によくされていると感じます。職員間の連携もよくとれています。自己評価をもう少しあげてもよいと思う。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人・家族の状況に応じて、通院や送迎等そのケースに応じて必要な支援に対して、柔軟に対応している。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域資源を活用し、利用者の方がこれまでとかわらず地域生活者として生活ができるように努めている。周りの感染状況を配慮しながら感染症対策を同時に行いながら柔軟に考え努めている。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所への協力医の他、利用前からのかかりつけ医へ通院介助を行い、ご本人にかわり状態等を伝え医療と連携を図っている。早い対応に努め、いつもと状態が違う場合等、家族の方へ受診の動向をお願いしている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には、日ごろの生活やご本人の事が分かるように、丁寧に具体的な情報書を作成し口頭と共に伝えている。退院許可が出る前しか面会ができない為、電話で情報を共有しているが、電話での情報とご本人の様子を見た時の情報で違いがあり、連携を図ることが難しい状況がある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院側の情報提供が難しい。以前にも耳にしたが、病院側の対応が不十分なことが多い為、役所等の補助をうけて対応していけないものではないでしょうか。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の現状をみて頂いたうえで、今後認知症の進行に伴い予測される事について、ゆっくりとご家族の方の気持ちをお聞きする機会を作るようにしている。そのうえで事業所としてできることを伝え、難しい状況であると関係機関と連携を図り対応に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人・家族・職員との共有の難しさを感じました。とくに難しいことなので今まで通りゆっくりと話しあいをしていってほしい。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社内研修の機会にて事故発生時等に救急対応ができるように努めている。また、事業所においても緊急時を想定しながらマニュアルを確認して定期的にシュミレーションを行っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災については定期的に日中・夜間を想定しながら避難訓練を実施している。水害を想定して実際に避難所にご利用者の方に避難して頂きそこの気づきを実践でいかせるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の訓練につながりにくい面を感じますが、よくされていると思います。今が万全というのは安全にはありません。災害等はとても対応が大変な事ですし、自分の安全を確保しながら実践してほしい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の自尊心を尊重して、プライド傷つけないようなさりげない言葉かけを行っている。つねにスタッフ視点ではなく、ご本人の立場にたち気持ちを考えた関わりを行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライドを傷つけない声掛けなど利用者の気持ち考えた関わりをされていました。スタッフの人たちは普段通りの言葉で十分気を使っていると思いました。良い対応をされていました。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりその日の体調・気分にあわせて関わりをもちながら、本人のペースで生活して頂けるように支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の方と会話の中で献立を作っている。その日の体調気分に合わせたりそれぞれご本人の負担なくできる事を働きかけて一緒に楽しみながら作っている。重度の方には五感に働きかけてその光景をみて頂いている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	美味しい食事を楽しみながら作っておられる姿を拝見しました。利用者の方に教えてもらって今はあまり手作りしないものを作ってあげてほしい。工夫しながら一人一人にあわせていると感じました。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理栄養士の献立をもとに栄養バランスは確保できている。食事量・水分量の少ない方には、栄養士の方に相談しながら補助食品や調理面での工夫等行い栄養・水分量の確保に努めている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のうがい・義歯洗浄と、週2回必ずブラッシングとリハビリテーションをとり入れた口腔ケアを行っている。この口腔ケアを行うことで誤嚥性肺炎の予防に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	十分配慮がなされていると感じました。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自分での訴えが難しい方には、ご本人の様子排泄パターンを把握して、さりげなくトイレ誘導を行っている。重度になっても身体面の機能が維持できる間は、福祉用具を活用して工夫して、トイレで排泄して頂けるような支援に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お話を聞いて対応のよさを感じました。個々のパターンを把握してよくできている。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの能力にあわせ、入浴方法を決めている。柚子湯など季節感を大切にし、入浴を楽しんでいただける工夫をしている。重度化している現状であるため、安心して安全にケアに努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの生活習慣を大切にし、その時々体調や気分にあわせて、ゆっくり休息したり気持ちよく眠れるよう支援している。優しい光や心地よい音楽等環境面の影響を考えその人にあわせて配慮している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の薬についてはいつでも情報がみれるようにファイルに情報をいれている。又、薬が変更した場合は必ず連絡簿に記入して副作用等ついても伝え変化を気をつけていけるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	複数の目で確認されている。 気を付けないといけない部分であると思いますが、安心できる取り組みかと思います。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの力に応じた役割をもって頂き、生活の中でご利用者の力が発揮できる機会を作り支援している。ご本人と会話等の中から生活歴等の情報により選択しを用意して支援している。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その日の気分に応じて散歩等にでかけている。季節を感じて頂くために、その季節や気候に応じてなじみの地域へのドライブ等の支援に努めている。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自分で支払やお金の管理ができる方は、買い物の支払いを見守り支援している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年賀状や手紙がかかる方にはやりとりができるようにはがき等用意して働きかけて支援している。遠くにおられるご家族の方も多いので意図的に働きかけて電話で話せる機会を作っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有の空間は、ご利用者の方と一緒に作成した作品や季節感のある小物を飾りつけし、ご利用者の方も廊下を歩きながらみることで楽しみに繋がっている。またソファがあったり廊下のつきあたりに景色がよくみえる所等にテーブル・椅子を置くことで、その日の気分にあわせて過ごす場所が選択できるように配慮している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	たくさんの事を職員の皆さんがしなくてはならない中でよくできていると思います。とても楽しく過ごしているようにみえましたが、個々で異なるので大変ではありますが、変化は必要だと思います。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の会話の中からご本人の思いが感じられる言葉をくみとり、その情報を職員間で共有している。その言葉をもとに話しあい日々のケアにいかしている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時や入所されてからもご本人・家族から生活歴等本人の生活がわかるようにしっかり情報を収集して、職員間で共有している。在宅におられる頃から大事にしている習慣等ケアに取り入れ支援に努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調面について訴えができる人が少ないので、細目にバイタルを測定したり小さな変化がみられたら早くに医療面に繋げている。ご本人の状態の変化にあわせて、情報を共有して環境面やケアを見直し安全面に配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の状態にあわせて一人ひとり生活のペースを大事に支援に努めている。毎朝継続して神棚にお参りを習慣にされている等その方にあわせて支援に努めている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自宅で使っていたもの思いいれのあるものや、ご家族の方の写真等を飾られることで、なじみのものがあり安心でき今までの生活が継続できるように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室に希望にあわせて今までの生活が継続できるように畳を敷くなど配慮されていると感じました。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	周りの感染状況をみながら対策をしっかり行い、本人の希望やその日の天候等にあわせてなじみの場所へのドライブ等外出支援を行っている。自宅への外出支援もしている。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のケアの中でいつもご本人の認知症の状態・身体面の状態を職員間で把握して、その状態・本人の気持ちにあわせて、日々の楽しみや生活の中で役割を担っていただく機会を作っている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の方の周りに記憶に繋がるもの等あることで、その時を思い出され楽しく会話する場面がある。ご本人の思いを引き出しその人に合わせた趣味活動や家事活動を日々の暮らしの中で支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	皆さんとても楽しそうに生活されていると思います。本人がやりたい事・できる事をやってもらっていることはとてもいいと思います。良く支援できていると感じました。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染対策を行いながら、なじみの地域の行事にでかけていったりすることで、なじみの人との交流が図れその方との関係性の継続に努めている。			

49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症対策を行いながら、なじみの場所 行きたい所へ行かれ、地域の方との交流を図っている。スタッフもご利用の方から教えて頂くことも多く、日々何気ない会話や冗談を言いながら、感情をともにしながら過ごしていると感じている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の事で大変ですが継続してやっていける事が大切だと思います。 職員の連携・情報の共有・利用者を思う心など大変すばらしいなと感じました。総合的にみてすべてが充分できていると思う。スタッフの方との会話をお聞きすると信頼関係があると感じました。皆さん生き活きと楽しそうにされていて感動しました。
----	----	--	--	---	--	--	--